

ProofCheckerPRO ユーザ各位

ProofChcecker PRO v5a から v5c へのバージョンアップ詳細について

ProofChecker PRO をご愛顧頂き、ありがとうございます。

2019年10月11日付で、下記の修正を含むバージョンアップを行いました。

(修正内容は、PRO 版 LE 版とともに共通です。)

◎アップデート内容

- macOS 版/Windows 版 共通  
v4 と v5 の照合設定ファイル互換に対応しました。

照合する PDF ファイルにパターンが含まれる場合、照合および表示に非常に時間がかかる場合があるため、パターン非表示モードを作成しました。

パターン非表示モードでは、照合する PDF にパターンが含まれる場合、照合および表示いずれも行いません。

macOS 版: 起動後オープニングロゴが表示されている状態で control + option キーを押す。

Windows 版: 起動後オープニングロゴが表示されている状態 Ctrl + Alt を押す。

- macOS 版  
10.14Mojave に対応しました。

◎不具合修正

- macOS 版/Windows 版 共通  
マスクツールを使用すると強制終了する不具合を修正しました。

文字列がインライン画像として定義されているデータの照合中に強制終了する不具合を修正しました。

照合するデータに含まれないオブジェクトが印刷時に出現する不具合を修正しました。

照合する PDF ファイルに JBIG2 圧縮された画像が含まれる場合、照合結果表示で赤い BOX と「未対応画像」というテキストで表示するように対応しました。

※JBIG2 圧縮は二値画像の圧縮形式です。

- macOS 版  
環境設定で設定を変更し、設定名をつけて保存しようとする設定が初期設定に戻ってしまう不具合を修正しました。
- Windows 版  
マスクツール、照合エリアツールで矩形を描き、それをクリックして選択すると、コーナーのつまみが表示されない。また、形を変えようとしてコーナーをドラッグするとシステムエラーになる不具合を修正しました。

環境設定ダイアログの下の「読込」ボタンから、別の初期設定ファイルを選択すると「設定が見つかりません」というメッセージが表示され読み込めない不具合を修正しました。

Windows32bit 版で照合結果に×表示(照合が完了しなかった表示)が以前に比べて頻度高く出現する不具合を修正しました。

以上